

ディーラーズ・マインド

「ジョージ・ソロス 金相場に戻る」

今年もはや折り返し地点に差し掛かり、物事が次のフェーズに向かう段階にある。11月頃は世界中が騒がしくなっているだろうが、2015年末から2016年初頭に掛けて蒔いた種がこの時期になり静かに動き出している様である。

ゴールドなんて今も昔も巨大なマーケットの中での規模は僅かなものだが、潮目が変わる時、そのプレゼンスは恐ろしく巨大になる。

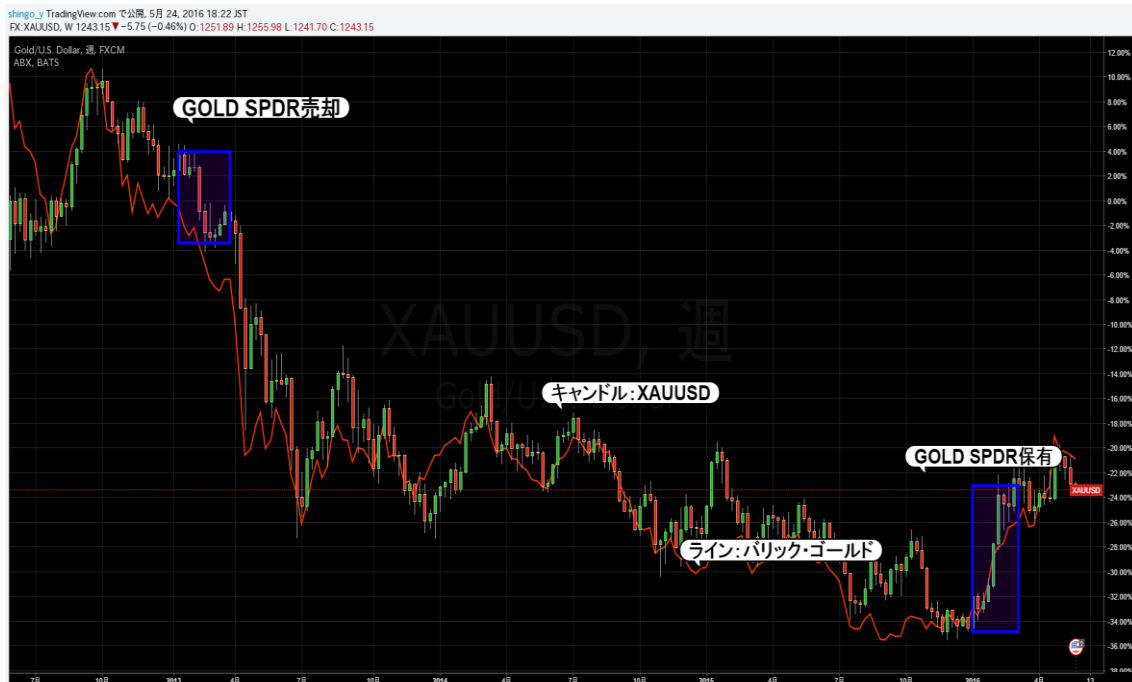
そのゴールドマーケット、具体的には SPDR GOLD ETF (GLD) にあのジョージ・ソロスが戻ってきた。彼が最後に金 ETF 市場から資金を引き揚げたのは2013年前半頃という事で、まる3年ぶりの再開という事になる。(もちろん金関連の投資自体から手を引いていた分けでは全く無い。)

ソロスよ、お帰り！と、いう事で、彼の直近の行動を少し見てみると、株式は弱気のスタンスで米株式投資額を37%減らし、逆に「金」関連銘柄ではロングに回っており、2016年初頭の彼の発言やスタンスそのままのポジショニングとなっている。

興味深かったのは、金 ETF (GLD) と同時に、世界最大の産金会社バリック・ゴールド株式との両方の取得(約2億6400万ドル)であろうか。

ただ、ソロスは2013年以降もタイムリーに同社株式を取得しており、今回は米株式投資を大幅に減らした一方で、金関連に資金を移動した事が「ソロスと金」のリンクを目立たせた一つの理由ではないだろうか。

チャートを見てみよう。



上述の通り、バリック社株の取得はこれまでも継続していたわけであるが・・・それにしても、金価格と同社株は、特に直近3年は綺麗に連動している。あくまで企業への投資が大前提であるが、それでも上手くリンクしてきたものだ。

ここの枠では狭すぎるので、また改めて金—金鉱株を紹介します。

さて、6月は英国の国民投票、米はFOMC、油はOPECと節目の月になるが、近々では伊勢志摩サミットも控えている。後、ナイジェリアの石油施設破壊通告か・・・集中していこう。

—このレポートに関しまして—

当レポートの著作権はすべてバーグインベスト株式会社 (Burginvest Co.,Ltd.) に帰属し、「ゴールド・オイル・通貨の取引を学ぶコミュニティ」外への転載および無断引用は固くお断り致します。

また当レポートは、会員個人のみが閲覧いただき、法人内・コミュニティ外での回覧・シェアは固くお断りしております。(後日、回覧人数分の料金を申し受けます)。無断の転載などを見つけた場合、著作権者までご連絡ください。

また、このレポートは、市場の研究とその情報の提供を目的としたものです。投資方針や時期選択等の最終判断はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、バーグインベスト株式会社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

ご理解をいただきまして、ありがとうございます。